

競技に使用される曲の特徴に関する研究

A study of the characteristics of music that is used in sports

三小田 美穂子

Mineko SANKODA

ABSTRACT

The purposes of this paper were to examine the relationship between music and sports and to consider the effects of music through an analysis of the music used in sporting competitions. This paper has focused specifically on music used in figure skating. Pieces of music that were used by gold medalists since 2000 were identified and each piece's main features were examined. How well the skater's movement matched the music was also examined.

The music that is often used in competition changes key and tempo. The music combines sections in a different key and with a different tempo. In addition, many pieces that are used in figure skating are ethnic/folk music and have a narrative. The characteristics of the music inspired skaters to choreograph their performance, and they chose music that best fit their personality and technical strengths. All of the skaters sought to portray the atmosphere and delicate movements that the music conveyed during their routines.

The music greatly affected the skaters' performance. In light of these findings, music is closely related to sports.

Key words; figure skating, key, tempo

I. 研究の目的と方法

音楽を伴うスポーツには、体操・フィギュアスケート・シンクロナイズドスイミングなどがある。スポーツの種類によって音楽の種類や構成の仕方は異なるが、音楽の選択は大きな影響力を持っているといえる。尾西氏はゆか運動の音楽の選択につ

いて次のように書いている。「さらに選択された音楽は、選手独自の特徴や個性を際立たせ、構成のアイデアやテーマを導くべきものである。伴奏は選手個人に適したもので、全体の芸術性や演技の完成度を高めるものが要求される」(2015)ここに、昨今の競技では芸術性が着目され、音楽の選択が重要になっていることが読み取れる。先

行研究では、柳田（2015）が2013-2014フィギュアスケート女子シングルショートプログラムを分析し、既存作品を再構成するための編集方法と楽曲構成における意図を比較している。

本研究では、フィギュアスケートを例にあげて、これまで使用されている曲を分析し、音楽とスポーツの関係を考察することとした。2章では、2000年以降の金メダリストが使用した曲をリストアップし、各曲の調や速さなどを調べて、選曲する基準について、3章では、ショパン作曲バラード第1番を例にあげて、曲の省略の方法や演技構成の特徴などについて言及した。4章でこれらの調査と分析を通して、音楽がどのように競技に影響を与えているかを探り、音楽とスポーツの関係を考察した。

Ⅱ. フィギュアスケート使用曲の分析

2000年以降の金メダリストが使用した曲の中からクラシック音楽をとりあげて分析した。しかし、オペラは選手によって使用箇所が異なるので、分析からは外した。これらの分析から、以下のことがわかった。

- ①短調の曲が多い。
- ②曲の中で短調から長調に転調し、曲の雰囲気が変わるものが多い。
- ③曲の速さが変わるものが多い。
- ④エキゾチックな曲調や、物語性のあるものが選曲されている。

①短調の曲が多い。

短調の使用曲としては、サン＝サーンス作曲「死の舞踏」、ラフマニノフ作曲「前奏曲 鐘」、ピアノ協奏曲 第2番、サラサーテ作曲「ツイゴイネルワイゼン」、プッチーニ作曲「星は光りぬ」、スクリャービン作曲「練習曲 第12番 悲愴」があげられる。短調で始まり、途中で長調に転調する曲としては、ショパン作曲「幻想即興曲」、「バラード 第1番」、サン＝サーンス作曲

「序奏とロンドカプリチオーソ」、モンティ作曲「チャルダシュ」、チャイコフスキー作曲「ロミオとジュリエット」があげられる。組曲の中から短調と長調の曲を組み合わせたものは、ハチャトリアン作曲「仮面舞踏会」、リムスキー＝コルサコフ作曲「シェラザード」、「スペイン奇想曲」、ラフマニノフ作曲「パガニーニの主題による狂詩曲」があげられる。

②曲の中で短調から長調に転調し、曲の雰囲気が変わるものが多い。

これは、曲の雰囲気の変化に合わせてジャンプ、スピン、ステップの構成を行うためであると考えられる。該当する曲は11曲あり、50%を占める。1曲の中で短調と長調が見られるものは、リスト作曲「愛の夢」、ショパン作曲「幻想即興曲」、「バラード 第1番」、サン＝サーンス作曲「序奏とロンドカプリチオーソ」、モンティ作曲「チャルダシュ」、サラサーテ作曲「ツイゴイネルワイゼン」、チャイコフスキー作曲「ロミオとジュリエット」である。組曲の短調と長調を組み合わせたものは、ハチャトリアン作曲「仮面舞踏会」、リムスキー＝コルサコフ作曲「シェラザード」、「スペイン奇想曲」、ラフマニノフ作曲「パガニーニの主題による狂詩曲」である。

③曲の速さが変わるものが多い

これは速さに合わせてジャンプ、スピン、ステップの構成を行うことができるためであると考えられる。速さの変わる曲を使用している例は9曲あり、41%にあたる。1曲の中で速さが変わる曲は、ショパン作曲「幻想即興曲」、サン＝サーンス作曲「序奏とロンドカプリチオーソ」、モンティ作曲「チャルダシュ」、サラサーテ作曲「ツイゴイネルワイゼン」、チャイコフスキー作曲「ロミオとジュリエット」である。速さの異なる組曲を構成している例では、ハチャトリアン作曲「仮面舞踏会」、リムスキー＝コルサコフ作曲「シェラザード」、「スペイン奇想曲」、ラフマニノフ作

曲「パガニーニの」主題による狂詩曲」があげられる。ショパン作曲「幻想即興曲」を例にあげると、Allegro agitatoの速いテンポで始まり、次にLargoでかなり遅くなり、Moderato cantabileで速くも遅くもない、歩くような速さでと表示される速さとなり、最後に Prestoのかんりの速さで終わる。この変化がジャンプやスピンなどのさまざまな動きを合わせることにふさわしく、さまざまな選手に起用されている要因だと考えられる。

④エキゾチックな曲調や、物語性のあるものが選曲されている。

エキゾチックな曲調のものは、ハチャトリアン作曲「仮面舞踏会」、リムスキー＝コルサコフ作曲「シェラザード」、「スペイン奇想曲」、モンテ作曲「チャルダッシュ」、サラサーテ作曲「ツイゴイネルワイゼン」である。「シェラザード」は、「第1楽章海とシンドバッドの船」、「第4楽章バグダッドの祭り」などの題から見られるように、アラビアの神秘的な世界を思わせ、「スペイン奇想曲」は、「IVジプシーの情景と歌」に見られるように、ロマの情熱的でロマンに満ちた雰囲気を感じられる。これらの曲は民族音楽や各地域に古くから伝わる曲などを基にしており、エキゾチックな曲調を醸し出しており、西洋音楽とは異なる旋律の動きや拍子感を持っている。この独特の雰囲気が表現を生み出しやすくしているのではないかと考えられる。

物語性のある曲としては、「シェラザード」、プッチーニ作曲オペラ『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」、オペラ『トスカ』より「星は光りぬ」があげられる。「シェラザード」は千夜一夜物語からとられた題材に基づいて作曲されている。「誰も寝てはならぬ」、「星は光りぬ」はオペラアリアとして非常に有名なものである。オペラアリアは劇中で特に強い思いなどを訴えるために挿入されるものであり、強い思いを情感豊かに表すための手法が使用されている。これらの曲を用いることによって、フィギュアスケートにお

いて表現豊かに演技することが可能になる。

Ⅲ. 2014-2015 フィギュアスケートに使用された曲の分析

1. 音楽構成

本章では2014-2015男子フィギュアショートプログラムで使用されたショパン作曲バラード第1番作品23を例として取り上げ、曲と演技との関係を考察したい。

バラード第1番は1831年から1835年に作曲され、1836年に出版された。ショパンの数あるピアノ曲の中でも演奏されることの多い曲である。ト短調で書かれたソナタ形式の自由な変形の曲である。Largo、4分の4拍子のレチタティーボ風の序奏から始まり、第1主題は4分の6拍子のト短調である。67小節目に変ホ長調の第2主題が sotto voceで現れ、94小節目に第1主題がイ短調で現れ、106小節目に第2主題がイ長調で続く。軽快なパッセージの後、194小節目に再現部の様相を呈して第1主題が変ホ長調で現れ、208小節目から Presto con fuoco の coda で終わる。

省略されている部分は、4~7小節、8小節目は4分の6が4分の3になっている。17~35小節、55小節、58~61小節、65小節の3拍目から190小節の2拍目まで、197~198小節、215~223小節、250~236小節となっていて、総264小節の曲が、94小節になっている。第2主題と2回目の第1主題とそれらに付随する展開部分が省略されている。

2. 演技構成

演技構成をショートプログラム用に省略された楽譜に従って、説明していきたい。従って、小節番号は省略された楽譜のものである。序奏ではまだ演技は始まらず、4小節目の第1主題の始まりに合わせて、首を回してから滑り出す。6小節目と8小節目の第1主題に合わせてターンを行っている。9小節目にインサイドイーグルから10小節

めで4回転サルコを跳ぶ。11小節目でイーグルを行い、第1主題に合わせてターンする。13小節目からの軽やかな動きにあわせて、しばらくさまざまなステップを行い、21小節目の動きが上下に激しくなったところから4回転トゥーループと3回転トゥーループのコンビネーションジャンプを跳ぶ。25小節目からバタフライからフライングスピンを行い、上下する華やかなパッセージに合わせて、キャメルスピン、キャメルサイドウエイズなどのコンビネーションスピンを行う。38小節目で局長が穏やかになるとステップになる。42小節目でイナバウアーからトリプルアクセルを跳ぶ。45小節目からシット体制のスピンを組み合わせ、シットサイドウエイズ、シットビハインドを行う。54小節目のPresto con fuocoになると速いテンポでさまざまなステップを滑り、それは85小節目まで続く。この部分は曲の終わりに向けて劇的に加速する部分であり、演技も軽快で流麗なものとなる。86小節の非常に速いパッセージに合わせてキャメルスピンの始まり、87小節の分散和音にあわせてアップライトフォワードを行い、93小節目の和音に合わせてアップライトストレートに変わり、94小節目の最後の和音に合わせて終わる。

3. 考 察

ショパン作曲バラード第1番における演技構成の分析により、音楽と演技との相関関係について述べたい。

曲の構成として、第1主題、第2主題、展開、第2主題、第2主題、第1主題、codaという構成になっているが、第2主題の部分は大幅に省略されている。曲を省略することによって、拍子が4分の6から4分の3になり、拍子が変わっている部分もある。

4回転トゥーループなどのジャンプは、音が上昇している部分やうごききが速くなって高揚感がある部分で跳ぶことが多い。スピンは音の動きが細かい部分、または、速いパッセージで音が上下に

華麗に動く部分で行われている。音程が印象的に高くなったりするところでは必ず、手を動かす・軽く飛ぶ・軽く回るなどの演技を入れている。

このように旋律やリズムの特徴を踏まえたうえで演技構成がなされていることがよくわかる。音楽は、旋律・リズム・音色・調・和声・速さ・強弱などの要素が組み合わされてできており、偉大な曲はこの組み合わせが絶妙なのである。演技構成者はこれらの絶妙な音の動きにふさわしい演技を組み込むことができている。また、選手はジャンプやスピンなどの技術面だけでなく、音楽の特徴を聴き取って表現することが重要なのである。

IV. ま と め

フィギュアスケートに使用されている音楽の分析とバラード第1番の演技構成の分析から、使用される音楽の特徴と音楽とスポーツの密接な関係がわかった。

競技に使用される音楽は1曲の中で、調が変わったり、速さが変わったりするもの、または、組曲やオペラの中から調や速さの違う曲を組み合わせたりしたものが多い。これは、ジャンプ・スピン・ステップなどのさまざまな種目をより効果的に見せるためには重要な選曲の視点である。また、エキゾチックな曲やオペラや組曲など独特の雰囲気と物語を持っているものが多く選ばれている。これも気持ちが込めやすいこと、エキゾチックな曲は情熱的でロマンチックなものが多く、心理的影響が大きいためであると思われる。振付師は音楽の特徴をよくとらえて演技構成を考えると同時に、選手の個性や得意な要素などをより一層引き立てる音楽を選曲している。選手は音楽の醸し出す雰囲気や起伏や細かい動きを聴き捉えて、それぞれの種目をより効果的に演じている。このようにフィギュアスケートにおいて音楽は競技を左右する影響力を持っていると言える。

本研究は国士舘大学体育学部附属体育研究所・平成27年度研究助成により行われた。

参考文献

柳田憲一 演技構成を目的とした音楽再構成に関する研究 東京女子体育短期大学紀要 第50号 2015 P119-12

尾西奈美 女子体操競技におけるゆか運動について 音楽文化の創造 73号 2015 P16-20

	曲名	作者	シーズン	構成	調	速さ	拍子
1	愛の夢	リスト	2010-2012 2011-2012	FS FS		変イ長調 - 嬰ト短調 - ハ長調 - 変イ長調	Poco Allegro con affetto 4分の6拍子
2	仮面舞踏会	ハチャトラリアン	2009-2010 2008-2009	SP FS	I ワルツ II ノクターン III マズルカ IV ロマンズ V ギャロップ	イ短調 イ短調-ニ短調-イ短調 変ホ長調 変ロ短調 変ロ長調	Tempo di valse Andantino con moto Allegro Andante Allegro vivace 4分の3拍子 4分の4拍子 4分の3拍子 4分の4拍子 4分の2拍子
3	幻想即興曲	ショパン	2005-2006 2005-2006 2007-2008	SP FS FS	複合三部形式 A(序奏-a-b-a-経過)-B(序奏-a-a'-b-a)-A'(序奏-a-b-a)-coda	嬰ハ短調 - 変ニ長調 - 嬰ハ短調	Allegro agitato - Largo - Moderato cantabile - Presto
4	シェラザード	リムスキー=コサコフ	2011-2012 2008-2009 2009-2010 2009-2010	SP FS FS FS	第1楽章 海とシンドバッドの船 第2楽章 カランダール王子の物語 第3楽章 若い王子と王女 ----- 第4楽章 バグダッドの祭り	ホ長調-ホ長調 ロ短調 ト長調 - ホ短調-ホ長調	Largo e maestoso Allegro non troppo Lento-Andantino-Allegro molto-Con moto Andantino quasi allegretto-Pochissimopiu mosso- Come prima-Pochissimopiu animato Allegro molto-Vivo-Allegro non troppomaestoso
5	死の舞踏	サン=サーンス	2008-2009	SP		ト短調	MouvementmoderatedeValse 4分の3拍子
6	序奏とロンドカプリチオーソ	サン=サーンス	2013-2014 2011-2012	FS FS	A-B-A-D-C-A-D-B-A-coda	イ短調 - ハ長調- ハ長調 - へ長調	Andante marinconico - Allegro non troppo 4分の2拍子-8分の6拍子
7	スペイン奇想曲	リムスキー=コサコフ	2012-2013	SP	I アルボラダ II 変奏曲 III アルボラダ IV ジブシーの情景と歌 V アストリアのファンダンゴ	イ長調 へ長調 変ロ長調 ニ短調 イ長調	Vivo e strepitoso Andante con moto Vivo e strepitoso Allegretto Allegretto - Presto 4分の2拍子 8分の3拍子 4分の2拍子 8分の6拍子 4分の3拍子
8	前奏曲 鐘	ラフマニノフ	2009-2010	FS	三部形式	嬰ハ短調	Lento 4分の4拍子
9	チャルダッシュ	モンティ	2006-2007	FS		ニ短調 - ニ長調- ニ短調 - ニ長調	Largo - Allegro vivace 4分の4拍子
10.	ツイゴイネルフワイゼン	サラサーテ	2010-2011	FS		ハ短調 ハ短調 イ短調	Moderato Lento Un pocopiulento Allegro molto vivace 4分の4拍子 4分の2拍子 4分の2拍子
11.	月の光	ドビュッシー	2008-2009	SP	中間部では教会旋法のミクソリディア旋法が用いられている	変ニ長調 ホ長調-変ニ長調	Andante tresexpressif- Tempo fubato- Un pocomosso-Enanimant-Calmato- Tempo I 8分の9拍子
12.	誰も寝てはならぬ 『トゥーランドット』より	プッチーニ	2005-2006 2001-2002	FS		ト長調	Andante sostenuto 4分の4拍子 - 4分の2拍子 - 4分の4拍子
13.	ノクターン第2番	ショパン	2013-2014 2006-2007	SP SP FS	A-A-B-A-B-A-coda	変ホ長調	Andante 8分の12拍子

14.	バガニーニ の主題による狂詩曲	ラフマニノフ	2005-2006	SP	序奏 第18変奏	イ短調 変ニ長調	Allegro vivace Andante cantabile	4分の2拍子 4分の3拍子
15.	バラード第1 番	ショパン	2014-2015	SP	序奏-第1主題-第2主題-第1 主題-第2主題-第1主題-coda	ト短調-変ホ長調-イ短調 -イ長調-変ホ長調	Largo - Moderato - Menomosso - Presto con fuoco	4分の4拍子-4 分の6拍子-2分 の2拍子
16.	ピアノ協奏 曲 第2番	ラフマニノフ	2013-2014 2003-2004	FS FS	自由なソナタ形式	ハ短調	Moderato - Un pocopiumosso - Moto precedente - Più vivo - Allegro - Maestoso - Menomosso - Moderato - Menomosso	2分の2拍子
17.	火の鳥	ストラヴィンス キー	2009-2010 2007-2008	SP FS	序奏-火の鳥の前奏と踊り-ヴァリ アシオン-バントマイムⅠ-バド・ ドゥ-バントマイムⅡ-スケルツォ -バントマイムⅢ-ロンド-凶悪な 踊り-子守唄-終曲の賛歌	変ハ長調-ハ長調-嬰へ 長調-ハ長調-イ長調- ハ長調-ト長調-変ロ長 調-ロ長調-ハ長調-変ト 長調-ロ長調	♩=108 - ♩=152 - Tempo giusto -L' stesso tempo - Adagio - Vivo - Allegretto - Lento - Moderato - Vivo - Andante - Lento maestoso	8分の12拍子-4 分の2拍子-8分 の6拍子-8分の9 拍子-4分の4拍 子-4分の2拍子 4分の3拍子-4 分の4拍子-2分 の3拍子
18.	星は光りぬ 『トスカ』より	プッチーニ	2005-2006 2007-2008	SP FS		ロ短調	Andante lento appassionato molto	4分の3拍子
19.	ボレロ	ラヴェル	2011-2012 2000-2001 2008-2009	SP	パターンAとパターンBの繰り返し AABBAABBAABBAABBAB'	ハ長調	Tempo di Bolero moderato assai	4分の3拍子
20.	ラプソディ・ イン・ブル ー	ガーシュウィ ン	2008-2009	FS		変ロ長調-変イ長調-イ 長調-ハ長調-ホ長調- ハ長調-イ長調-ハ長調 変ホ長調-変ロ長調	Molt moderato - Moderato assai - Andantino moderato - Grandioso - Molt allargando	4分の4拍子 -4 分の2拍子 -4分 の4拍子
2 1	練習曲第12 番「悲愴」	スクリャーピ ン	2011-2012	SP		嬰ニ短調	Patetico	4分の4拍子
2 2	ロメオとジ ュリエット	チャイコフス キー	2004-2005	FS		嬰へ短調-ロ短調-変ニ 長調-ロ長調	Andante non tanto quasi moderato-Allegro justo-moderato assai	4分の4拍子

バラード 第1番

ショパン

Largo 序奏

第1主題

演技開始

5

スリーターン ターン インサイドイーグル

10

4回転サルコ イーグル ターン

14

17

20

4回転トゥループ

23

パタフライ

26

フライングスピン

29

32

35

キャメルスピン キャメルサイドウエイズ

39

再現部 第1主題

イナパワー

The image shows a musical score for 'Ballade No. 1' by Chopin, specifically the 'Largo' section. The score is written in a single staff with a key signature of two flats (B-flat and E-flat) and a 4/4 time signature. The tempo is marked 'Largo'. The score is divided into sections: an '序奏' (Introduction) and a '第1主題' (First Theme). The '演技開始' (Performance Start) is indicated at the beginning of the first theme. The score includes various figure skating elements, such as 'スリーターン' (Three Turns), 'ターン' (Turn), 'インサイドイーグル' (Inside Eagle), '4回転サルコ' (4 Rotations Salchow), 'イーグル' (Eagle), 'ターン' (Turn), '4回転トゥループ' (4 Rotations Toulopp), 'パタフライ' (Patayfly), 'フライングスピン' (Flying Spin), 'キャメルスピン' (Camel Spin), and 'キャメルサイドウエイズ' (Camel Side Wyzes). The score ends with a '再現部 第1主題' (Reprise of the First Theme) and 'イナパワー' (In-a-Power).

2

Musical staff for measures 43-46, featuring a treble clef, a key signature of two flats (B-flat and E-flat), and a 2/4 time signature. The melody consists of quarter notes and eighth notes, with some rests.

トリプルアクセル

シットサイドウェイズ

Musical staff for measures 47-50, continuing the melody from the previous staff. It includes some slurs and rests.

シットビハインド

Musical staff for measures 51-53, featuring a change in time signature to 3/4 and the introduction of triplets and quintuplets.

足替え

Musical staff for measures 54-58, featuring a change in time signature to 3/8 and the introduction of a 'ステップ' (step) rhythm.

ステップ

Musical staff for measures 59-63, featuring a treble clef, a key signature of two flats, and a 2/4 time signature. The melody is a series of eighth notes.

Musical staff for measures 64-68, continuing the eighth note melody.

Musical staff for measures 69-73, continuing the eighth note melody.

Musical staff for measures 74-78, continuing the eighth note melody.

Musical staff for measures 79-81, featuring sextuplets and eighth notes.

Musical staff for measures 82-85, continuing the eighth note melody with sextuplets.

キャメルスピン

Musical staff for measures 86-89, featuring eighth notes and a triplet.

アップライトフォワード

Musical staff for measures 90-92, featuring eighth notes and a triplet, ending with a double bar line.

アップライトストレート